

科目名 Course Name	子どもの健康と安全 Child health and safety	ナンバリング No.	K2-008				
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	長谷川久美子						
連絡方法	講義棟 1F 非常勤講師室においてか、C-ラーニングで対応する。						
必修/選択	選択 (保育士養成課程必修)						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と 到達目標	<p>多様な背景をもつ子どもたちが置かれている状況を把握し、子どもとその家庭を包括的に捉え必要な保健的対応ができるように基本的知識の修得と実践力を身につける。</p> <p>①保健的観点を踏まえた保育環境および援助について説明することができるようにする。 ②子どもの体調不良などに対する適切な対応ができるようにする。 ③感染症対策の基本を学び集団発生の予防ができるようにする。 ④保健的対応の基本的な考え方について述べるができるようにする。</p>						
授業の方法	テキスト、プリント資料、映像機器を活用し、保健に関するトピックスや事例紹介を含めて講義と演習により進める。健康教育の一環として、グループワーク後に教材作りを課題とする。『ほけんだより』を作成し提出する。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	<p>①子どもの健康と保育施設の環境について説明することができる。 ②保育者自身の健康管理について具体策を列挙し説明することができる。 ③子どもの体調不良時の対応、緊急を要する状況への対処方法について説明することができる。 ④感染症対策の基本的知識を修得し実践力を養うことができる。 ⑤個別的な配慮を要する子どもへの対応について説明することができる。</p>					
	L04						
課題に対する フィードバック	定期試験の実施後、試験結果を授業の中でフィードバックする。 演習後のレポート、課題レポートの提出。						
教科書/ 参考図書	教科書:「子どもの健康と安全」学建書院 母子健康手帳 参考図書・参考資料:授業の中で適宜指示、必要に応じてプリント資料配布する。						
履修上の留意点 やルール等	テキスト、プリント資料等の教材を必ず準備して授業に臨む。 事前・事後学習に費やす時間はおよそ 180 分を目安とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	教材を必ず準備し、積極的に質問する。			10	
レポート/作品	出題者の意図した内容に沿って課題要件を満たしている。 課題作品は様々な工夫点がみられ提出期限を厳守する。			40	
発表					
小テスト					
試験	設問内容を理解し授業の内容が正確に表現されている。			50	
その他					
合 計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスに沿って概要説明、学習への取り組み等)
	事前・事後学習	保育所保育指針解説概観
2	授業内容	保健的観点を踏まえた保育環境—子どもの健康と保育の環境
	事前・事後学習	保育施設の法的根拠
3	授業内容	保育における健康および安全管理①—保育施設の衛生管理 職員の衛生管理
	事前・事後学習	消毒液の種類と用途 正しい手洗いの方法
4	授業内容	保育における健康および安全管理②—保育者自身の健康管理
	事前・事後学習	ユニセフの衛生活動
5	授業内容	健康および安全管理の実施体制①—保健活動計画 グループワーク
	事前・事後学習	「ほけんだより」作成準備
6	授業内容	発育発達評価 (演習)—体格指数の計算 パーセントイル曲線
	事前・事後学習	「子どもの保健」復習—発育評価の方法
7	授業内容	子どもの体調不良などに対する適切な対応—発熱 咳 嘔吐その他
	事前・事後学習	医療機関の受診 子どもの薬
8	授業内容	緊急を要する状況への対処方法①—気道異物 アナフィラキシー その他
	事前・事後学習	応急手当
9	授業内容	緊急を要する状況への対処方法②—エピペンの使い方(演習)
	事前・事後学習	免疫のしくみ アレルギー疾患
10	授業内容	救命手当および救急蘇生法—傷害時の応急手当
	事前・事後学習	子どもの心肺蘇生法
11	授業内容	感染症対策①.—感染症対策の基本 予防接種
	事前・事後学習	感染症対策ガイドライン
12	授業内容	感染症対策②—感染症発生時と罹患後の対応
	事前・事後学習	感染症対策のガイドライン 子どもに多い感染症
13	授業内容	保育における保健的対応—個別的な配慮を要する子どもへの対応
	事前・事後学習	医療的ケア児
14	授業内容	保育における健康および安全管理③—子どもの事故の現状と特徴
	事前・事後学習	事故事例(ヒヤリハット・死亡例)
15	授業内容	授業のまとめ
	事前・事後学習	重要ポイントのふり返し